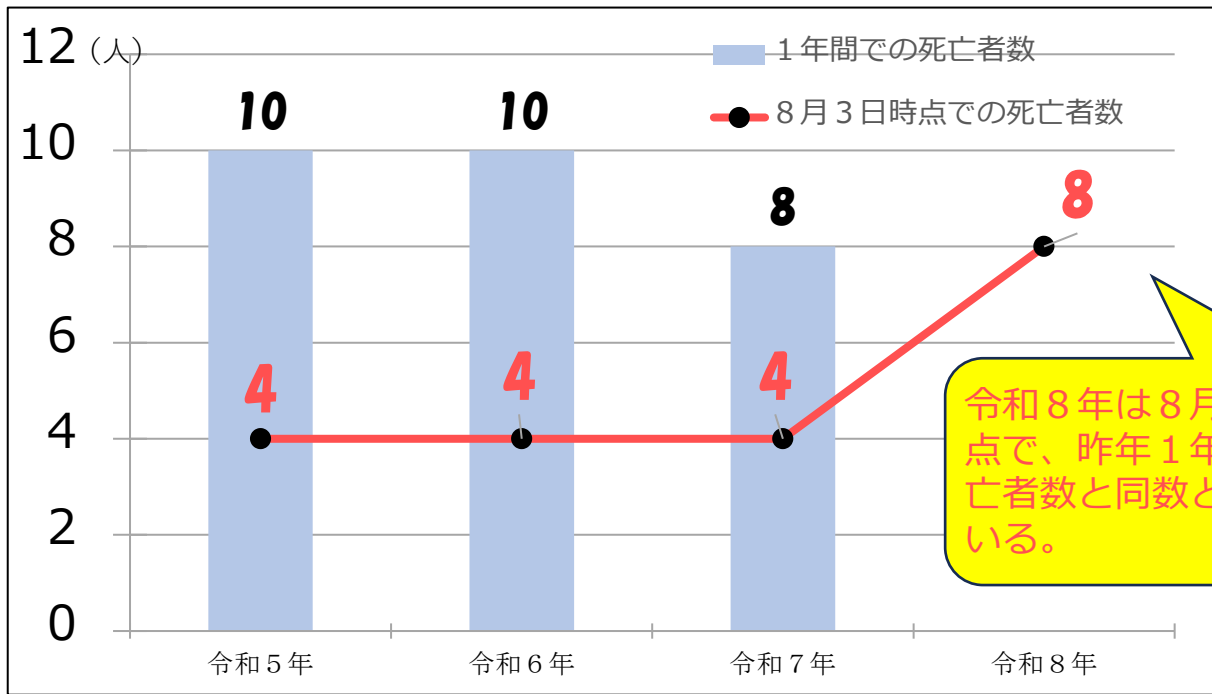
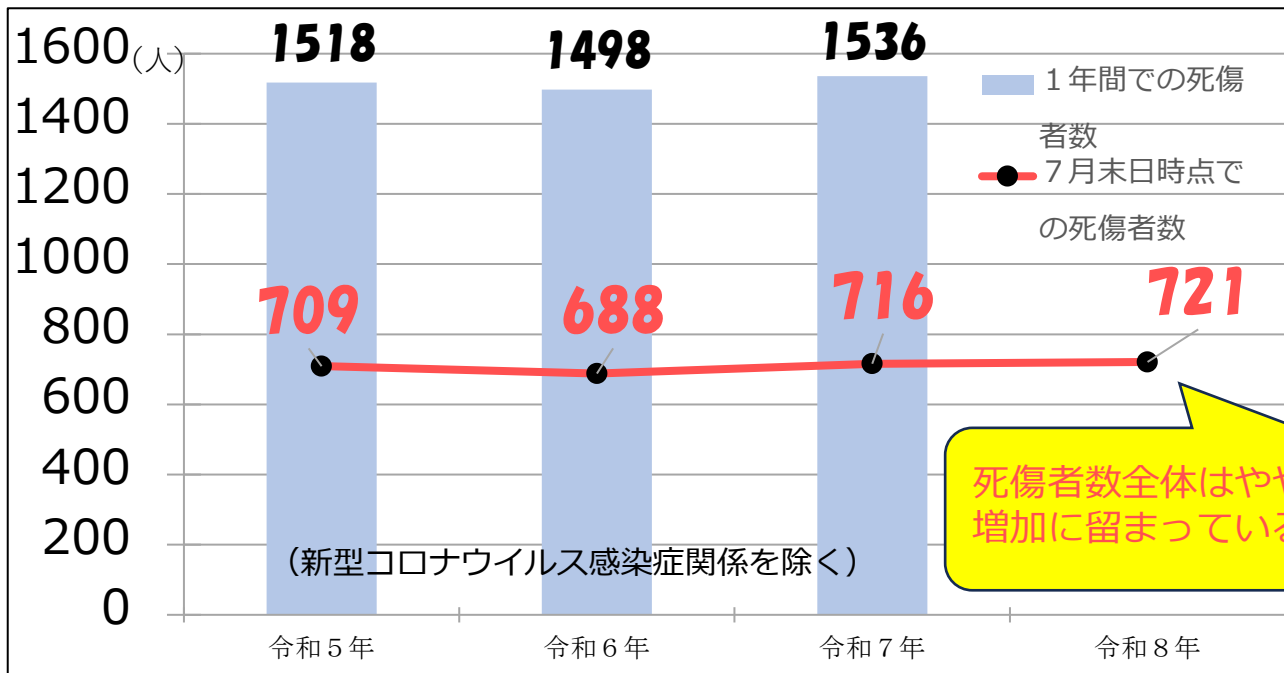


労働災害による死亡者数の推移（滋賀県）



◆ 令和8年の死亡者数は3月まで0人であったが、4月下旬から8月上旬までの3か月余りで昨年1年間と同数となる8人が亡くなり、短期間に連続して死亡災害が発生している。

労働災害による休業4日以上之死傷者数の推移（滋賀県）



◆ 従来は軽微な災害が増えると重大災害も増えると考えられていたが、近年は転倒災害や腰痛等の第三次産業型の休業災害が増えている一方、死亡災害は墜落・転落、機械災害や交通事故など別要因で発生することが多く、休業災害件数と死亡災害件数の連動性が弱くなっている。

墜落・転落等の死亡災害につながるおそれのある事故の型を個別にみても全体としての死傷者数の大幅な増加の傾向はなく、死亡災害については、墜落・転落等の元からあるリスクに、人手不足、高齢化及び外国人労働者の増加等による職場環境の変化が間接的な追加要因となる中で、特定の企業でそれらも踏まえた安全対策の内容の更新や措置が講じられていない結果として急増している可能性がある。

- ➡ 人手不足を背景とした現場作業者の経験・知識不足、熟練労働者退職等による現場マネジメント力の低下
- ➡ 高齢者の身体機能の変化や豊富な経験による思い込み作業、熟練者に対する管理の甘さ など